# （提案書様式）

***提案書様式は、「情報項目\_提案書様式別紙２」【MS-Excel】の書式で作成することも可能です。数値等、情報項目シートからの自動出力されます。***

***どちらかで作成し、提出してください。***

***（社内文書番号がある場合は記入。無い場合は削除）***番 号

***（提出日を記載）***年 月 日

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構

理事長 殿

提案者　住 所

***・会社登記された住所を記載ください。***

***・代表者名には、役職・氏名を記載してください。***

***・代表者は会社の代表権のある方とします。***

名 称

代表者名 　***役職***

***根戸花子***

|  |  |
| --- | --- |
| e-Radの研究機関コード（１０桁） |  |

課題設定型産業技術開発費助成金交付に係る提案書

（地域に眠る技術シーズやエネルギー・環境分野の技術シーズ等を活用したスタートアップの

事業化促進事業　事業2コース）

記

1. 助成事業の名称

***事業内容が分かる短く簡潔な名称とし、３０字以内で記入してください。「」はつけないでください。***

2. 助成事業の概要

***助成を申請する事業内容を150字以内厳守で要領よく記入してください。***

***Web公開する可能性がありますので、対外的に公表して問題ない内容としてください。***

3. 助成事業の総費用

事業化に向けた最良の研究開発計画（プランA） 　　　　　　円

事業化に向けた最小限の研究開発計画（プランB） 　　　　　　円

***別紙２助成先総括表の合計を転記してください。すべて消費税抜で記入してください。***

***90,225,330円のように円単位で記入してください。***

***「購買に関する関心表明書」の提出がある場合にはプランAで交付決定が可能です。***

***「購買に関する関心表明書」未提出の場合はプランBで交付決定し、2022年8月31日までに取得できた場合には必要な手続きを経てプランAに計画変更が可能です（プランBは“該当なし”と記入してください）。***

4. 助成金交付提案額

事業化に向けた最良の研究開発計画（プランA） 　　　　　　円

事業化に向けた最小限の研究開発計画（プランB） 　　　　　　円

***別紙２助成先総括表の合計を転記してください。すべて消費税抜で記入してください。***

***90,225,330円のように円単位で記入してください。***

***プランAの助成金の上限額は2億円、プランBの助成金の上限額は1億円です。******プランBは1億円もしくはプランAの2/3以下のどちらか低い額となるようにしてください。***

***「購買に関する関心表明書」の提出がある場合にはプランAで交付決定が可能です。***

***「購買に関する関心表明書」未提出の場合は******プランBで交付決定し、2022年8月31日までに取得できた場合には必要な手続きを経てプランAに計画変更が可能です（プランBは“該当なし”と記入してください）。***

5. 補助率　２/３以内

6. 助成事業の開始及び終了予定年月日

開始年月日　　　　　　　　　　交付決定通知書に記載する事業開始の日から

終了予定年月日　　　　　　　　○○○○年○月○日***・最長2023年3月31日まで***

7. 助成事業期間における資金計画

（１）収支計画

（単位：円）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 区分 | 2022年度 | |
| プランA | プランB |
| 支出 | 助成事業に要する経費 |  |  |
| 収入 | Ⅰ．自己資金 |  |  |
| Ⅱ．借入金 |  |  |
| Ⅲ．その他の収入 |  |  |
| (小計) |  |  |
| Ⅳ．助成金交付提案額 |  |  |
| 合計 |  |  |

***消費税抜きの金額としてください。***

***助成事業に要する経費は、別紙２「項目別明細表」の合計を年度ごとに転記してください。***

***Ⅳ．助成金の交付提案額は、別紙２「助成先総括表」の助成金の額を年度ごとに転記してください。***

VCや事業会社からの新たな出資を本事業に組み込む場合には、「Ⅲ．その他収入」に記入してくださ

***い。既に出資済みの場合は、必要な資金を自己資金に記載してください。***

（２）借入金等の調達方法

***・Ⅱ借入金、Ⅲその他の収入について、その調達方法を記載ください。***

***上記表を補足するため、必要な資金をいつどのように調達するか記載してください。***

8. 助成事業に係る連絡先

担当者所属

役職・氏名

郵便番号、住所

電話番号

ＦＡＸ番号

Ｅメールアドレス

# （添付資料１）

会社概要

１．提案者（法人名）

法人番号　　　　***・13桁の番号***

代表者名

住所

電話番号　　　　***・代表電話番号もしくは連絡先電話番号を記入してください。***

法人の履歴　　　・***法人の履歴（沿革）を簡単に記入してください。***

２．設立年月

***○○○○***年***○***月***（西暦で記入）***

３．資本金及び主たる株主

資本金　　　　***00,000***　千円

株主（上位５者）

株主 １．***（株）○○***　 　　　（持株比率　○○％）

２．***□□　□□***　　　　（持株比率　○○％）

３．***（有）△△*** 　　　　（持株比率　○○％）

４．***××（株）***　　　　（持株比率　○○％）

５．　　　　　　　　　（持株比率　○○％）

VC・事業会社からの投資実績・予定

（2022年3月2日以前（着金日基準）にVC・CVC・事業会社から出資を受けていることが応募要件です。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 出資を受けた日 （年月日）  ※出資を受ける予定は「予定」と記載 | 名称 | 出資額（千円） | 取得株数 |
|
| ***2021年4月△日予定*** | ***×××キャピタル*** |  |  |
| ***2021年○月○日*** | ***×××事業会社*** |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

最終資金調達時の株価：　　　　　　　　　円/株

その時点の時価総額：　　　　　　　　　　　円

***・必要であれば表を追加してください。***

※上記株主のうち、法人株主について、以下の表に記入してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 株主企業名 | 大企業・中小企業区分 | 資本金額  （千円） | 従業員数  （人） | 売上高  （百万円） | 主たる業種 |
| ***（株）○○*** | ***大企業*** | ***1,000,000*** | ***1,500*** | ***200,000*** | ***製造業*** |
| ***（有）△△*** | ***中小企業*** | ***10,000*** | ***30*** | ***100*** | ***サービス業*** |
| ***××（株）*** | ***中小企業*** | ***200,000*** | ***300*** | ***50,000*** | ***卸売業*** |
|  |  |  |  |  |  |

４．従業員数

***00***　人(内訳　経営者：　　人、従業員：　　人、パートタイム：　　人)

５．応募要件等から見た会社状況

提案者は公募締切日（2022年3月2日）以前に(着金日基準)、VC・CVC・事業会社から出資を受けている。

***・投資実績を確認し、該当しているかチェック（☑）をしてください。***

提案者は未上場企業である。

***・申請者が未上場である場合にチェック（☑）をしてください。***

提案者は中小企業者に該当する法人である。

***・公募要領の３．応募要件（１）⑧を確認し、チェック（☑）をしてください。***

提案者はみなし大企業ではなく、直近過去3年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が15億円を超えない

***・公募要領の３．応募要件（１）⑧を確認し、チェック（☑）をしてください。***

６．会計監査人名

***・会計監査人の設置については、会社法３２７条及び３２８条により大会社や指名委員会等設置会社などに設置が義務付けられている株式会社の機関の一つです。監査役と異なり、独立的な立場から財務諸表等の監査を行います。***

***なお、大会社、委員会設置会社以外の株式会社も会計監査人を設置することができます。設置されている場合は公認会計士または監査法人名を記載してください。会計監査人の設置がない場合は”なし”と記入ください。***

７．主たる業種

***・主たる事業の業種を１つ記入ください。***

８．現在の主要事業内容（主な製品等）

***現在の事業内容（主な製品等）を記入してください。また、過去５年間に市場に出した主要な新事業または新製品をあげ、その売上高を記入してください。***

***例： 新事業/新製品名*** ***新事業/新製品の説明*** 　***売上高***

***年度 新製品名１ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

***新製品名２ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

***年度 新事業１ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

***年度 新製品名○ 　　～～～～～ 　　 ○○○百万円***

９．売上高

***00,000***　百万円

１０．決算日

***○***月　***○***日

１１．NEDO提案事業の業種

***日本標準産業分類の中分類を参考に業種を１つ記入してください。***

# （添付資料２）

事業化実施計画

## **Ⅰ．事業概要（エグゼクティブサマリー）**

***・ミッション、ビジョン、エグジットプラン等を含めて、どのような事業をしようとしているのかA4用紙1～2枚で説明してください。***

**Ⅱ．チームビルディング**

**１．主要経営陣の略歴**

***・CEO、COO、CTOなどの役員職にあるメンバー、あるいは会社の経営方針の決定に関与する（貴社に籍を置く）主要メンバーの略歴を記載してください。***

***記載例：***

　　　①CEO

　　　　名前（ふりがな）

　　　　生年月日　年齢

　　　　最終学歴、学位及び取得年（西暦）

　　　　事業経歴

　　　　アピールポイント

　　　　当該申請会社の他に兼任している業務内容

　　　②CFO

名前（ふりがな）

　　　　生年月日　年齢

　　　　最終学歴、学位及び取得年（西暦）

　　　　事業経歴

　　　　アピールポイント

　　　　当該申請会社の他に兼任している業務内容

　　　③CTO

名前（ふりがな）

　　　　生年月日　年齢

　　　　最終学歴、学位及び取得年（西暦）

　　　　事業経歴

　　　　アピールポイント

　　　　当該申請会社の他に兼任している業務内容

**２．事業推進チームと役割**

***・１．の項に記載した各メンバーがどのようなスキルと役割で事業を推進していくのか、貴社の経営方針を背景に記載してください。***

**Ⅲ．事業化実施計画詳細**

**１．ターゲット市場とソリューション**

**（１）事業化の背景・動機**

***・本事業に取り組む動機（創業の想い等）を簡潔に説明してください。***

***・また、複数の事業を展開されている場合、全体像と本事業の位置付けを簡潔に記載してください。***

**（２）顧客のペイン**

***・御社の解決する顧客のペイン（痛みを伴うほどの強いニーズ）を説明してください。また、その妥当性を示すものとして必要に応じてペインのドライバーとなる環境要因も説明してください。***

・上記について根拠（出典）があれば示してください。また、ヒアリングや実証等を通じてペインの蓋然性を確認している場合、開示可能な範囲で記載してください。

**（３）ソリューション**

***・上記顧客のペインを解決する自社のソリューションは何か。そのキーテクノロジーは何か。なお、技術の詳細については、下記記載欄「２．技術開発状況　（１）ソリューションのコアとなる技術シーズ・自社の強み」に示してください。***

***・可能な範囲でイラストやダイヤグラム等で説明してください。***

**２．技術開発状況**

**（１）ソリューションのコアとなる技術シーズ・自社の強み**

・想定顧客のペインに対して、他社にはないどのような技術・自社の強みで、顧客のペインを解決しようとしているのか説明してください。

**（２）これまでの開発と事業化までの技術開発課題**

***・顧客ニーズを満たすソリューションを実現する上で必要な開発課題およびその進捗状況、事業化まで（NEDO事業期間から事業化まで）の開発課題とその解決方法を説明してください。***

***※事業化までの開発課題全体をここでは示し、Ⅳ．１ではNEDO期間中の開発課題を示してください。***

***・開発課題に関して、顧客からのヒアリングや、実証試験、サンプル出荷などを通して得られている情報は開示可能な範囲内で具体的に記載ください。***

***・これまでのVCや事業会社等からの資金調達の状況や他の補助金の活用状況とを関連付けて説明してください。***

***・これまでの開発状況の中で、補助金の成果があるものは、プロジェクト名とその成果の概要を説明してください。***

**（３）競争優位性**

***・IP（特許）を独占的に保有する為に、どのような戦略を立てているのか。競争力を維持する方策として、知財をどのように確保しているか（排他的な使用権の確保等）を説明してください。特に、大学や他者との成果物である特許の活用が必須の場合、それが単独出願か共同出願か、また、その特許使用権をどのように切り出して確保しようとしているのか（ライセンス・譲渡のいずれか）。また提案者の周辺特許の保有状況等を明記してください。***

・また、ネットワーク効果やブランド戦略など、競争力を維持できる戦略と効果について説明してください。

**（４）ベンチマーク**

***・現状の他社（海外企業がある場合には、海外企業を含む）の解決法と欠点、課題は何か記載してください。***

***・競合が想定される他社の製品・サービスと本開発製品との性能及び価格等に関する比較表を作成し、本開発製品の競争力の根拠を記載してください。***

***・上記のような顧客のペインに対して、現状の解決策（競合他社のソリューションなど）は何で、どこにまだ不満があるのかを記載してください。***

***・どこを解決・改善すれば買ってくれるのかを記載してください。（評価、要求スペック、価格等を具体的に挙げて記載してください。）***

**３．事業化計画**

**（１）事業参入時期とそれまでの課題及びリスク**

***・市場参入時期（想定）を明記してください。（海外展開を見込んでいる場合には、国内とは分けて記載してください。）***

***・本助成事業期間終了後、事業化が可能になるまでの具体的計画を記載してください。***

***・事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記載してください。***

***・また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記載してください。***

**（２）資金調達計画**

***・本事業化実施計画を遂行するのに必要な資金の総額、またそれをいつどのように調達した／するのか説明してください。***

・本事業化実施計画ならびに、その後の売上計画を達成するために、どの時期に、何の目的（資金用途）で、いくら資金調達（シリーズB,C。。。）を実施した・予定しているのか。NEDOの助成金も含めて事業化までに必要な全体額が分かるように説明してください。

・またその資金調達に関して、VCや事業会社等とどのような合意をしているのかもできるだけ具体的に説明してください。

**（３）事業体制（サプライチェーン/パイプライン）**

***・事業化時の全体の体制図を示してください。なお、IV．１．（１）研究開発体制・役割はNEDO事業期間に関しての体制図を示すものです。***

***・事業会社等の連携先と顧客開拓の方法、また、事業遂行上のその他の協力会社との開発体制を示してください。***

***・体制図を用いながら、事業会社等の連携先と顧客開拓をどのように進めるのか。また、事業遂行上のその他の協力会社との開発体制についての説明も加えてください。***

***・事業体制図を分かりやすく示してください。***

***・それぞれの連携先がどのような役割を担うのかも図の中に簡潔に説明してください。***

**（４）市場規模**

・市場規模およびその成長性について説明してください。

・実現可能な最大の市場規模（TAM(Total Addressable Market)）や特定の顧客セグメント（SAM(Serviceable Available Market)）だけでなく、そのうち自社が実際にアプローチ可能な市場規模（SOM(Serviceable Obtainable Market)）を示してください。

**（５）利益モデル**

（事業化時（市場参入時）の競合他社の想定価格と、提案者想定の市場参入価格、原価の想定等）

・どのような仕組みで収益を得るのか、収益の算出根拠を含め、具体的な計画を説明してください。（海外展開を見込んでいる場合には、国内とは分けて記載してください。）

**（６）売上計画とブレークイーブンの時期**

・上記の収益モデルを踏まえ、事業化後５年経過迄の売上と利益の見通しを説明してください。また、販売単価、販売数、原価など、売上と利益の算出根拠を図表等を用いて具体的に説明してください。

**（７）事業の社会貢献性**

***ア）、イ）のいずれかまたは両方を記載してください。ただし、情報サービス業、インターネット付随サービス業は、ア）について必ず記載してください。***

ア）エネルギー・環境分野への社会貢献性

＜解決につながる課題とその根拠＞

***・事業開発がエネルギー・環境分野の社会課題解決にどう結びつくのか説明してください。***

＜CO2削減効果の試算＞　***定量的な試算ができる場合には記載してください。記載なしでも提案は可能です。***

(a) 製品・サービス１単位あたりの年間のCO2s削減量： 　　　[t-CO2/***固有単位***]

(b) 2030年の製品・サービスの販売見込： 　　　[***固有単位***]

(c) 2030年の年間のCO2削減量（(a) × (b)）： 　　　[t-CO2]

(d) 算出根拠

***・(a)、(b)の算出過程を記載してください。仮定や前提条件は任意に設定してください。***

イ）その他の分野への社会貢献性

＜解決につながる社会課題とその根拠＞

***・事業開発がエネルギー・環境分野以外のSDGs等の社会課題解決にどう結びつくのか説明してください。***

＜定量的な効果の試算＞　***定量的な試算ができる場合には記載してください。記載なしでも提案可能です。***

(a) 製品・サービス１単位あたりの年間の効果：

(b) 2030年の製品・サービスの販売見込：

(c) 2030年の年間の効果（(a) × (b)）：

(d) 算出根拠

***・(a)、(b)の算出過程を記載してください。仮定や前提条件は任意に設定してください。***

**（８）成長戦略とエグジットプラン**

***・成長戦略として今後の事業展開を説明してください。***

***・現時点で想定しているエグジットプラン（株式公開（IPO）や事業売却（M&A））などを説明してください。時期や想定している企業価値およびその根拠についても簡単に示してください。***

**Ⅳ．事業化に向けたNEDO事業期間の開発計画**

**１．NEDO事業における研究開発体制等**

**（１）研究開発体制・役割**

**①研究開発体制図**

***・Ⅲ．３．（３）事業体制（サプライチェーン/パイプライン）が事業化時の全体の体制図を示すのに対し、本欄は、助成事業期間に関しての事業体制図を示してください。***

***・会社組織ではなく、助成事業を遂行する体制（役割分担）を具体的に記入してください。***

***・研究開発体制図には、提案者と、費用計上を行う学術機関がある場合のみ、その機関を記載してください。（連携する事業会社や費用計上しない学術機関は記載不要）。***

***・図中に、研究者全員の氏名・職名・役割分担・専従度を記入してください。***

***例：　根戸太郎　研究員　試作品の分析評価　専従度６０％***

共同研究等の相手先

研究開発体制

　　　　　研究員A 研究員B　　　　研究員C　　　研究員D　　　　　研究員A　　研究員B

　　　　　　(氏名)　　　(氏名)　　　　（氏名） （氏名）　　　　　（氏名）　　（氏名）

(役割) (役割) (役割) (役割)　　　　　（役割）　　（役割）

**②各組織の役割（研究機関と共同研究を行う場合のみ記載してください）**

**(a)全体の目標**

**(b)提案者の役割**

***・提案者の役割を記入してください。***

**(c)共同研究等の相手先の役割と協力項目**

***・複数の場合は、それぞれの役割を記入してください。***

***・提案者との役割の分担が適切であること、相互の事業拡大に貢献する取り組みとなっているか、等を記入してください。***

**(d)本助成事業に関わる共同研究等の成果の取扱い（特に知的財産権の帰属）**

**（２）助成先における研究体制（別紙１）**

　　　　別紙１を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_3\_別紙1.xlsx」の様式を使用してください。***

**（３）共同研究先における研究体制（費用計上を行う学術機関）（別紙１）**

　　　　別紙１を参照　または　該当なし

***・費用計上する学術機関と共同研究を行う場合は作成してください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_3\_別紙1.xlsx」の様式を使用してください。***

**（４）委員会等における外部からの指導又は協力者（別紙１）**

　　　　別紙１を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_3\_別紙1.xlsx」の様式を使用してください。***

***・該当しない場合は別紙１内に「なし」と記入してください。***

**２．NEDO事業期間における助成事業の目標**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 助成事業期間中の達成目標 | 助成事業期間終了後から事業化までの達成手段 | 事業化時の最終目標 |
|
| ***目標1*** | ***パイロット実験により各種触媒の比較データを取得し、反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する。*** | ***運転条件の最適化及び安定操業制御システムを開発することにより、最終目標を達成する。*** | ***反応効率９５%以上を安定して達成する。*** |
| ***目標２*** | ***生成物重量比、反応温度、撹拌速度について最適な反応条件を探索し、生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。*** | ***～～～～～～*** | ***生成物の純度を９９%以上とする。*** |
| ***目標３*** |  |  |  |
| ***目標４*** |  |  |  |

***・実用化開発の技術課題を達成して得られる最終製品が具備すべき性能・仕様等（最終目標）を記入してください。***

***・助成事業期間中に達成する研究目標及び助成期間後に最終目標を達成するための手段を記入してください。***

***・採択審査上重要ですので、それぞれの目標については必ず数値により定量的かつ明確に記入　　　　してください。***

***・マーケティング調査研究は自社が主体となって進める場合のみ認められます。調査研究の外部委託は認められません。調査研究の一環で展示会出展を予定している場合は、そこで、調査又は実証試験をどのように進め、どのような結果を得ようとしているのかを、「４.NEDO事業期間における研究開発の内容」に具体的に記入してください。***

**３．上記目標設定の理由（国内外における技術動向や既存の製品との関連等について説明すること。）**

***・上記目標の設定理由と達成手段を箇条書きで記入してください。***

***・記入にあたって、明確（達成できるレベルを数値により定量的に）かつ簡潔に記入してください。***

***・国内外の競合技術との比較や、ユーザが要望する製品スペックとの関係等についても説明してください。***

**４．NEDO事業期間における研究開発の内容**

***Ⅲ．２．（２）これまでの開発と技術開発課題においては事業化に向けた全体の開発課題を記入し、Ⅲ．２および３ではNEDO期間中の開発課題・目標を記入し、その目標を達成するために必要な研究開発の内容を本欄で説明してください。***

目標１：***反応効率９０％以上を達成できる触媒を選定する。***

技術課題：***・・・・・・・***

克服手段：実用化開発項目ア）***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

実用化開発項目イ）***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

目標２：***生成物の純度９５%以上を達成できる条件を確定する。***

技術課題：***・・・・・・・***

克服手段：実用化開発項目ウ）***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標３：　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***技術課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***目標４：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***技術課題：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***克服手段：・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***・上記「２．NEDO事業期間における助成事業の目標」を達成するため、各目標にかかる技術課題と克服手段について、具体的かつ詳細に記入してください。***

***・目標を達成するために共同研究先の研究機関が果たす役割を具体的かつ詳細に記入してください。***

***・ユーザー評価を研究開発に反映させる目的で一部研究開発成果を反映した無償によるサンプル出荷、又は製造原価以下による販売等を行う場合には、その計画とねらいについても具体的に記載してください。***

***・技術課題各々の克服手段について、できるだけ図表を用いてわかりやすく記入してください。***

**５．共同研究先の研究テーマ及び内容（費用計上行う学術機関）**

***・費用計上を行う学術機関の共同研究のテーマ、内容、及び役割の詳細を記載してください。共同研究をしない場合は、記載不要です。***

**６．事業期間中の研究開発日程**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 実施するプランに○を記入 | | 事業項目 | 2022年度 | | | |
| プランA | プランB | 第１  四半期 | 第２  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 |
|  |  | ***目標１*** |  |  |  |  |
| ***○*** | ***○*** | ***実用化開発項目ア）*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目イ）*** |  |  |  |  |
|  |  | ***目標２*** |  |  |  |  |
| ***○*** | ***○*** | ***実用化開発項目ウ）*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目エ）*** |  |  |  |  |
|  |  | ***目標３*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目オ）*** |  |  |  |  |
| ***○*** |  | ***実用化開発項目カ）*** |  |  |  |  |

***・上記「２．NEDO事業期間における助成事業の目標」を達成するための実用化開発項目（技術課題）について、「研究開発日程表」を作成してください。***

**７．助成事業に要する費用の内訳等（プランA）**

**（１）全期間総括表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**（２）助成先、研究分担先、分室総括表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**（３）委託先、共同研究先総括表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照　または　該当なし

***・費用計上を行う研究機関について記入すること***

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**（４）項目別明細表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**８．助成事業に要する費用の内訳等（プランB）**

***購買に関する関心表明書を提案時に取得している場合、こちらは記入不要です。「購買に関する関心表明書を取得しているため該当なし」と記入してください。***

**（１）全期間総括表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**（２）助成先、研究分担先、分室総括表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**（３）委託先、共同研究先総括表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照　または　該当なし

***・費用計上を行う研究機関について記入すること***

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***

**（４）項目別明細表（別紙２）**

　　　　別紙２を参照

***・公募ページに公開されているExcelファイル「事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx」の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_3\_別紙1.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・グレーの部分は（提案書提出の時点では）記載不要です。***

***・研究実施場所が複数ない場合は、①のみ記載ください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_3\_別紙1.xlsx）内の様式を使用してください。***

***・費用計上を行う学術機関について記入ください。***

***・該当しない場合は、作成不要です。***



***・必要があれば、記載してください。なければ氏名欄に「なし」と記載してください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_3\_別紙1.xlsx）内の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***





***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***



***・費用計上を希望する研究機関と共同研究を行う場合は作成ください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***

***・間接経費は、直接経費の10%(大学は15%)を上限としています。***

***・研究機関が２者の場合は、このシートをコピーして作成ください（１者１枚）。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***



***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***





***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***



***・費用計上を希望する研究機関と共同研究を行う場合は作成ください。***

***・公募ページに公開されているExcelファイル（事業2コース\_4\_情報項目\_提案書様式別紙2.xlsx）内の様式を使用してください。***

・「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。

***・「助成事業に要する経費」はこの助成費用を進めるに当たり必要な費用、「助成対象費用」はその内の助成対象としてNEDOに計上する費用を記入してください。***

***・間接経費は、直接経費の10%(大学は15%)を上限としています。***

***・研究機関が２者の場合は、このシートをコピーして作成ください（１者１枚）。***

# 【別添１】

キーワード及び専門用語の解説

１．キーワード

(1)技術キーワードとして、当該実用化開発（自社が開発しようとしている内容に関連する最も重要と思われる技術）の「キーワード」を重要なものから順に記入してください。

公募要領別添（技術キーワード集）から必ず３つは選択し、その該当数字をキーワードの前につけて記入してください。

公募要領別添（技術キーワード集）に無いキーワードは、本欄に記入せず、（４）フリーキーワードに記入してください。

(2)事業化キーワードとして、製品分野･サービス展開上のキーワードを記入してください。

(3)フリーキーワードとして、(1)～(3)以外の語句を記入してください。

＜重要＞

記入されたキーワード（特に（１）技術キーワード）は、申請内容を評価する外部専門家を、適切な専門分野から選定する際の必須情報として用います。必ず3つ以上記入してください！！

（１）技術キーワード（３つ以上必ず記入すること）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| (1) ***例：1010*** | ***アミノ酸、ペプチド*** | (2) |  | (3) |  |
| (4) |  | (5) |  | (6) |  |

（２）事業化キーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：ユビキタス社会*** | ***例：街頭広告*** |  |

（３）フリーキーワード

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ***例：３Ｄ画像技術*** |  |  |

２．専門用語の解説

***・提案書に記載された専門用語について、特に必要と思われるものについて、簡単に説明してください。***

# 【別添２】

その他の補助金制度との関係等

１．補助金制度等による受給の有無

（１）補助金制度等による受給を受けた事業（申請時点で補助金を受け実施中の内容も含む。）

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要  （目標・成果） | *詳しく、明瞭に記述してください。* |
| 本申請との差異 | *本申請との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。* |

* ***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発で国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等からの委託（再委託を含む）又は補助金交付を受けたことがある場合、その概要を記入してください。***
* ***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。***
* ***無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）***
* ***記入内容としては、実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、成果（特に実用化した場合の事業展開）、本申請との差違を記入してください。***
* ***記入等の不備により、類似・同一の研究開発で補助金等の受給が判明した場合は、虚偽の申請として審査の打ち切り、交付決定後の場合でも交付決定の取り消し等を行うことがあります。***
* ***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

（２）補助金制度等による受給を申請中又は申請予定の事業

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *▲▲省* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 申請者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 事業の概要  （目標） | *詳しく、明瞭に記述してください。* |
| 本申請との差異 | *本申請との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。* |

* ***当該実用化開発の全て若しくは一部及び当該実用化開発に関連した開発を、国、ＮＥＤＯ及びその他の独立行政法人、地方自治体等に現在申請中、あるいは申請を予定している場合、その概要（実施機関の名称、制度の名称、対象期間、補助金の額、目標、本申請との差違等）を記入してください。***
* ***複数ある場合は表をコピーして補助金ごとに記入してください。***
* ***無い場合には、「無し」と記入してください。（「無し」の場合、表は削除してください。）***
* ***なお、研究項目が異なっていても、同一製品、サービスの実用化に供する開発については、重複とみなします。***

２．過去にＮＥＤＯ等で実施した事業との関係

本申請が、過去にＮＥＤＯ等で実施した研究開発事業の成果を活用したものであり、本申請の助成事業を実施することにより、その成果の実用化が加速すると考えられる場合には以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *NEDO* |
| 制度の名称 | *○○年度××開発補助金* |
| 採択者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名（エフォート） | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員（５０％）、▽▽▽▽▽研究員（７５％）* |
| 対象期間 | *年　月　日　～　　年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 補助金額 | *○○円* |
| 本申請との関係 | *詳しく、明瞭に記述してください。* |

３．過去にNEDOの研究開発型スタートアップ支援制度に応募して不採択となった事業との関係（相違点）

　過去にNEDOの研究開発型スタートアップ支援制度のSTS、STS2、SCA、CRI、PCAに応募して不採択となった事業がある場合には、その事業と本申請との関係（相違点）を以下に記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 実施機関の名称 | *NEDO* |
| 制度の名称 | *XX年度シード期の研究開発ベンチャーに対する事業化支援（ＳＴＳ）* |
| 申請者名称 | *◇◇株式会社* |
| 研究者名 | *▲▲部　◎◎◎◎　主任研究員* |
| 提案日 | *年　月　日* |
| テーマ名 | *～～の開発* |
| 本申請との関係  （相違点） | *過去に不採択となった応募事業のうち、直近の事業に関して、その後本申請時までの進捗状況等について、詳しく明瞭に記述してください。*  *・不採択後の進捗・変化点*  *・改善ポイント等* |

STS：シード期の研究開発ベンチャーに対する事業化支援

SCA：企業間連携スタートアップに対する事業化支援

CRI：橋渡し研究開発促進による事業化支援

PCA：提案時から数年で継続的な売り上げをたてる具体的な計画がある研究開発型スタートアップを  
支援

TRY：2020年初頭からの急激な市場環境の変化をチャンスと捉えた事業化を支援

# 【別添３】

－ 主任研究者研究経歴書の記入について －

研究経歴書は、研究開発等実施体制の審査のために利用されます（ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます）。

事業の遂行を管理し、各種文書の提出や研究員の従事日誌の確認等を行う助成事業を遂行する際の責任者である主任研究者について、研究経歴を主任研究者研究経歴書（様式１）に記入し提出してください。

なお、主任研究者は研究実施場所ごとに登録が必要です（共同提案の場合、提案者ごとに最低1名は登録が必要です）。また研究員が主任研究者を兼ねることも可能です。

【記入にあたっての注意点】

①研究開発経歴（現職含む）：

* 1. 「過去の研究実績（参画プロジェクト）」については、自社独自のプロジェクトのみならず過去に参画したNEDOプロジェクト等も含めて記載してください。また、大学への派遣や他の企業／研究機関での勤務経験なども併せて記載してください。

②受賞歴、当該研究開発に関する最近５年間の主要論文、研究発表、特許等（外国出願を含む）：

* 1. 当該研究開発プロジェクトに関連する研究成果を記載してください。
  2. 研究成果を示すものとして、「論文（研究経歴又は専門分野における代表的な論文。学会の査読の無いもの等も可）」、「研究発表（学会のみならずシンポジウム等での口頭発表等も可）」、「特許（外国出願を含む）」等がありますが、これに限定しません。なお、共著者、共同発表者、又は共同発明者でも可です。

　　　※　「論文、研究発表、特許等」は、原則として少なくてもこれらのうち１つについて当該分野に関する研究成果を示す記述があることが必要となります。これらがない研究者においては、「その他」項目に当該プロジェクトを遂行する上で当人の知見が不可欠であることを示す事由を記載してください。技能者や分析担当者・技術動向調査担当者等において、「論文」「研究発表」「特許」等が無い場合については、当該人物が研究に不可欠である旨を有する技能や経験に関連付けて記述してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |  | 経歴書作成日： | |  | | |
| 主任研究者　研究経歴書 | | | | | | | | | | | |
| 氏名 | | | |  | | | | | | | |
| フリガナ | | | |  | | | | | | | |
| 生年月日（西暦）、年齢 | | | |  | | | | | | | |
| 所属研究機関のe-Rad研究機関コード（10桁） (所属研究機関の研究代表者は必須。) | | | |  | | | | | | | |
| e-Rad研究者番号（8桁） （所属研究機関の研究代表者は必須。代表者以外は不明または保有していない場合は省略可） | | | |  | | | | | | | |
| 所属 | | | |  | | | | | | | |
| 部署名 | | | |  | | | | | | | |
| 役職名 | | | |  | | | | | | | |
| 所属機関の研究者代表 （該当：１　非該当：２） | | | |  | | | | | | | |
| 最終学歴 | | | |  | | | | | | | |
| 学位 | | | |  | | | | | | | |
| 学位取得年（西暦） | | | |  | | | | | | | |
| 研究開発経歴（西暦　※現職含む） | | | | | | | | | | | |
|  | 年 | ～ | 年 | 研究開発内容 | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
|  | ～ |  |  | | | | | | | |
| 受賞歴（西暦　※年月） | | | | | | | | | | | |
|  | 年 | 月 |  | 主催者名 | 表彰制度名称 | 受賞名称 | 受賞件名 | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
| 当該研究開発に関連する最近5年間の成果等（各主要なもの10件以下） | | | | | | | | | | | |
| 論文 | 発行年 | 月 |  | 主な著者１ | 著者２ | 著者３ | 表題 | 論文雑誌名 | 巻（Vol.） | 号 | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 研究発表 | 発表年 | 月 |  | 主催者名 | イベント名 | 発表者 | 発表タイトル | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
|  |  |  |  |  |  |  | | | |  |
| 特許等 | 出願年 | 月 | 日 | 出願番号 | 登録番号 | 発明等の名称 | | | | | 備考 |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
|  |  |  |  |  |  | | | | |  |
| その他 | 年 | 月 |  | タイトル | 自由記述 | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
|  |  |  |  |  | | | | | | |
| 本研究開発プロジェクトにおける役割 | | | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | | | |

研究開発等実施体制の審査のために利用されます。ただし、法令等により提供を求められた場合を除きます。

# 【別添４】

★役員一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 役職名 | 備考 |
| ***根戸　太郎*** | ***代表取締役社長*** |  |
| ***研開　次郎*** | ***取締役*** | ***△△株式会社　川崎市幸区　取締役*** |
|  |  |  |
|  |  |  |

※大企業の役員又は職員を兼ねている場合は、備考欄にその会社名、所在地、役職名を記入してください。

★利益相反マネジメントについて

***提案者の役員及び主任研究者（登録研究者含む）が大学等と兼職を担っている場合は、利益相反マネジメント体制、現時点の対応状況について記入してください。***

***該当者がいない場合は、「該当者なし」と記入ください。***

★J-Startup認定

***提案時点でJ-Startupに認定されている企業は、□にチェック（☑）してください。***

J-Startup認定

J-Startup HOKKAIDO認定

J-Startup TOHOKU認定

J-Startup NIIGATA認定

J-Startup CENTRAL認定

J-Startup KANSAI認定

J-Startup （ ）認定

# 【別添５】

***当該事業に関連する特許公報の写しを添付してください（任意提出）***